



2018 平成30年 6

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イダ3階A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743

## 本格的な体育館に人気



上和泉地域センター

### 団地の一画に開設

上和泉地域センター（和泉本町4-7-51）は昭和52年にオープンした。都営狛江アパート（狛江団地）北角にあった汚水処理施設の跡地に、鉄筋コンクリート造り4階建ての51号棟の1階と2階を使って開設され、1階に上和泉学童保育所が併設されている。

1階は本格的なスポーツができる体育館に加え、舞台が付いた畳敷きと板敷きの和室、集会室（70平方メートル）、事務室、2階は畳48枚を敷き、2室に分けても使える101平方メートルの和室、防音設備を施した音楽室（27平方メートル）、講座室（70平方メートル）、料理実習室、創作室などがある。

開館時間は午前9時から午後9時30分（図書室は正午から午後5時）。休館は第2・4回と年末年始。図書室を除く施設の利用は事前に団体登録が必要。

### 団体のイベントを支援

狛江団地に加え周辺の町会・自治会、緑野小学校の児童や生徒、高齢者や地

域活動、趣味やスポーツなど幅広い団体が利用している。今年度は更新年度にあたるため、250以上の

団体が登録される見込み。体育館を利用する卓球、バスケットボール、バレーボール、ビーチボールなどのスポーツ団体が多いのが特色で、音楽室を使うカラオケの団体もめだつ。年間の利用者は69,148人（平成29年度）にのぼる。

地域の市民29人で構成する上和泉地域センター運営協議会が主催事業の



40周年を祝った昨年の上和泉地域センターまつり

計画立案、運営、広報などを行っている。今年度の主催事業は上和泉初夏のコンサート（6月3日回）をはじめ、廃食油で作る石けん講座（7月29日回）、料理教室（8月予定）、上和泉地域センターまつり（10月13日回・14日回）、クリスマスケーキ教室（12月頃）、そば打ち教室（1月頃、2月3日回）、輪投げ大会（3月頃）を催す。

同館では、登録団体を対象に企画事業を募集しイベントを共催し会場の提供、チラシなどの印刷費の補助、傷害保険の加入などの支援を行うのが大きな特色だ。支援する事業はプレゼンテ

## 学びの広場

ーションをもとに決めており、今年度はボッチャ、浴衣着付け、朗読など18のイベントが企画事業に決まった。

問い合わせ☎3489-9101上和泉地域センター。



体育館

面積547平方メートル。本格的な屋内スポーツの練習や試合のほか、ダンスや講演会、コンサートなどに幅広く利用されている。男女別に更衣室、シャワー室も完備している。



料理実習室

面積50平方メートル。料理台、ガスレンジ、オープン、冷蔵庫、食器などを備え、料理の講習のほか、クリスマスケーキ教室、そば打ち教室、高齢者の会食会、子ども食堂などにも利用されている。



和室

1階と2階にあり面積101平方メートル、半分の55平方メートルでも利用できる。1階は一方がステージ付きの畳敷き、もう一方は板張り、2階は畳24枚を敷いた部屋2室で用途に応じて使い分けができる。

### 野川クラブ

野川クラブ（大友陽子代表）は、卓球を通して会員が交流するサークル。

上和泉地域センターが開館した昭和52年に、同センターの体育館を練習拠点にして発足した。

現在の会員は男女合わせて約20人で、60代前半から80代のシニアが中心。毎週金曜日に同センター体育館で練習しており、月2回はコーチの指導を受ける。

狛江市卓球連盟などが主催する公式戦や市内外で催される卓球大会などに積極的に参加している。

スポーツとして卓球を楽しむだけでなく、地域に密着した活動を発足以来続けているのが特色。野川杯と呼ぶ内部の大会や外部の人を招くミックスダブルス大会、同センター主催の上和泉ダブルス大会などの卓球大会や勉強会などを催すほか、親睦を目的に会員が企画したハイキングなどのレクリエーションにも力を入れている。会員全員が事業部、総務部、会計のいずれかに所属しクラブの運営に直接関わっている。月1回の委員会では打ち合わせだけでなく、昼食を食べながら交流する。

会員は「卓球は生涯スポーツ」を合言葉に練習に励んでおり、最高齢の渡辺トモさん（87）は「クラブが発足した時に参加しました。40年以上続けているので、若い人と試合しても十分戦えます。体を動かすので、健康を維持でき、いろいろな人と交流できるのが楽しい」と話している。

練習日は毎週金曜午前9時～11時15分。月会費は2,000円、入会金2,000円。

問い合わせ☎3489-8067大友さん。

### レクダンス桜

レクダンス桜（増島美好代表）は、

民謡などをグループで踊って楽しむサークル。

狛江団地にある2つの老人会でレクダンスを楽しんできたが、参加者の減少と高齢化で次第に衰退したため、3年前に老人会から独立して活動しようとする有志が集まり、結成した。当初は数人だったが、口コミなどで会員が増え、現在は60～80代の女性18

人が参加している。運営協議会事業部長で民謡舞踊を長く続けてきた目黒

藍子さんが指導しており、飽きがこないよう北海盆唄や鹿児島おはら節、花笠音頭、よさこい鳴子踊りなどレパートリーを増やし、踊りを楽しめるよう工夫している。自分たちが楽しむだけでなく、狛江市民まつりのパレードに参加して民謡の魅力を伝えたり、市内在住の外国人の人たちに盆踊りを教えて国際交流にも貢献している。また、7月22日回には、地域の盆踊りに向けて踊りと浴衣の着付けを教えるイベントを催す。

メンバーは「たくさんの人と踊るのがすごく楽しいです。休憩時間もおしゃべりができ気持ちよくなります。足のリハビリにもなっています」と話している。

例会は第2・4回午後1時30分～4時。参加費は会場費のみ実費。

問い合わせ☎080-1228-2098目黒さん。

### フルートハーモニー「のがわ」

フルートハーモニー「のがわ」（鎌田俊夫代表）は、フルートのアンサンブル演奏を楽しむグループ。

鎌田さんが、地域のたくさんの人と



演奏会に向けてフルートの練習

フルート合奏を楽しもうと愛好家に呼びかけ平成18年に発足した。当初のメンバーは7人だったが、現在では30代から70代までの男性5人、女性10人に増え、作曲家の増井哲太郎さんの指導で毎月3回、上和泉地域センターに集まって練習に励んでいる。メンバーは、学生時代に経験した人や中年になってから習い始めた人もおり、演奏技術はまちまちだが、全員が楽しく演奏することをモットーにしているという。

毎年、初夏の音楽会などに出演するほか、ほぼ2年ごとに独自の演奏会を開催、常連のファンも多い。適度な合奏用の譜面が手に入らない場合は増井さんが同会のために編曲、アルトとバスを含む15本のフルートで、クラシックを中心としたさまざまなジャンルの音楽を演奏している。

6月17日回の初夏の音楽会に出演するほか、9月24日回午後2時から調布市文化会館たづくりで催す第6回演奏会に向けて練習に励んでいる。演奏会では



よさこい鳴子踊りをそろって練習

「懐かしいアメリカの歌が聞こえる」をテーマに、ドヴォルザーク「アメリカ」、ガーシュイン「サマー・タイム」、フォスター名曲メドレーなどを取り上げる。

同会では「フルートは、オーケストラなどでは主旋律を演奏することが少ないためフルートだけのアンサンブルは、やさしい音色を純粋に楽しめると好評です」と話している。

例会は月3回日午後1時～4時30分。月会費3,000円。

問い合わせ☎090-8038-8843鎌田さん。